

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成20年10月16日 (2008.10.16)

【公開番号】特開2007-99590(P2007-99590A)

【公開日】平成19年4月19日 (2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-015

【出願番号】特願2005-294873(P2005-294873)

【国際特許分類】

C 0 3 C 3/066 (2006.01)

C 0 3 C 3/064 (2006.01)

C 0 3 C 3/14 (2006.01)

C 0 3 C 8/04 (2006.01)

C 0 3 C 8/02 (2006.01)

H 0 1 J 11/02 (2006.01)

【F I】

C 0 3 C 3/066

C 0 3 C 3/064

C 0 3 C 3/14

C 0 3 C 8/04

C 0 3 C 8/02

H 0 1 J 11/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月2日 (2008.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

含まれる元素のうち、酸素を除く他の元素の比率で表して、
 B が 5 5 原子%以上 8 5 原子%以下、
 S i が 0 原子%以上 1 5 原子%以下、
 Z n が 0 原子%以上 1 5 原子%以下、
 K が 0 原子%以上 1 0 原子%以下、
 N a が 0 原子%以上 1 0 原子%以下、
 B i が 1 原子%以上 1 0 原子%以下、
 S i および Z n の合計が 5 原子%以上 3 0 原子%以下、
 K および N a の合計が 1 原子%以上 1 0 原子%以下、
 K、N a および B i の合計が 8 原子%以上 1 5 原子%以下、
 である酸化物ガラス。

【請求項 2】

M g、C a、S r および B a より選ばれる少なくとも 1 種を、0 原子%を超え、5 原子%以下の範囲で含有する、請求項 1 記載の酸化物ガラス。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の酸化物ガラスを電極被覆用ガラスとして用いた、ディスプレイパネル。

【請求項 4】

基板と、
前記基板上に形成された、A gを主成分とする電極と、
前記電極を直接被覆する、実質的にアルカリ金属を含有しない第1誘電体層と、
前記電極との間に前記第1誘電体層が位置するように前記第1誘電体層の上に配置された第2誘電体層と、を備え、
前記第2誘電体層が、請求項1 または請求項2に記載の酸化物ガラスからなる、ディスプレイパネル。

【請求項5】

基板と、
前記基板上に形成された、A gを主成分とする電極と、
前記電極を直接被覆する第1誘電体層と、
前記電極との間に前記第1誘電体層が位置するように前記第1誘電体層の上に配置された第2誘電体層と、を備え、
前記第1誘電体層が、請求項1 または請求項2に記載の酸化物ガラスからなり、
前記第2誘電体層が、前記酸化物ガラスよりも低誘電率のガラスからなる、ディスプレイパネル。